

桐生市総合戦略推進委員会の改善意見等に対する令和 7 年度当初予算への反映状況等について

■基本目標 1：地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

○具体的事業に関する意見

事業名	意見内容	反映状況等	担当課・室
地場産業振興センター事業	桐生テキスタイルプロモーションショーは開催場所によって、来場者数の差があるように感じるため、検討したほうが良いと思う。	<p>桐生テキスタイルプロモーションショーにつきましては、直近 3 年間は渋谷区の EBiS303 において開催しておりますが、その前 2 年間はベルサール渋谷ガーデン、さらにそれ以前は青山テピアにて開催しておりました。その間の来場者数は約 750～950 名で推移しておりますが、当イベントの開催場所としては、ファッション・流行の発信地であり、国内外のバイヤーも足を運びやすい「渋谷」を中心に、主要駅からアクセスしやすい場所が適していると考えております。</p> <p>令和 7 年度の開催場所につきましては、前年同様、渋谷区 EBiS303 を予定しておりますが、当施設は JR 渋谷駅から 1 駅、JR 恵比寿駅から徒歩 3 分の好立地であるほか、イベントホールの天井も高く開放感がある上に高級感のあるフローリング仕様となっており、桐生産地の高品質な製品の展示・商談スペースとして良好な場所と認識しております。</p> <p>当会場につきましては、出展者や来場者からも好評の声をいただいておりますが、来場者数の更なる増加に向けて、新候補地の発掘のほか、イベント案内をはじめとした情報発信にも引き続き取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	商工振興課
林業振興事業	山地災害の原因としては林地残材の搬出とあるが、その他にも災害が起きないために森林の整備も進めていただければと思う。	<p>森林整備については、令和 5 年度から当初予算に反映し、令和 7 年度以降も引き続き実施して行く予定です。</p> <p>この他、私有林の適切な管理のため、令和 6 年度には間伐・更新伐造林事業補助金を、令和 7 年度には森林病害虫防除事業補助金を創設し、森林整備に対する体制を整えてまいります。</p>	農林振興課

雇用の確保と安定化	<p>「共働き・共育て」の機運を盛り上げるため、官民一体となった運動を展開してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が少子化対策の一環で「共働き・共育ての推進」を柱に据えて、男性育休取得率の向上の目標を掲げたり、一定期間手取り 100%保障などに取り組んでいるが、育休中の賃金保障や人の手当をどうするかが課題となるため、企業や市民の理解と協力が不可欠だし、行政もサポートする必要がある。 ・「共働きの推進」は全国的な流れになりつつある。これに乗り遅れないためにも、取り組んではどうか。 	<p>令和7年度におきましては、内閣府が進める「若者・女性にも選ばれる地方に向け、地域の働き方、職場改革等に取り組む自治体」に参画し、官民一体となって、職場の現状や課題の把握や職場環境の改善等を進めいくことで、職場の魅力を高め、多様な働き方の醸成につながる取り組みを進めてまいります。</p>	商工振興課
-----------	--	--	-------

■基本目標3：安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

○具体的事業に関する意見

事業名	意見内容	反映状況等	担当課・室
不妊・不育症治療費助成事業	不妊治療や高齢出産がしやすいまちといった意識付けが、他の母親や若い人と話していると今後必要になってくると思う。	不妊・不育症治療費の助成に加え、経済的負担を軽減するため、県外医療機関受診の場合は交通費の助成も行っています。	子育て相談課
安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる	<p>周りの女子学生から話を聞くと、大学卒業後にすぐ結婚することは考えていないことが多い。大学で学んだことを生かし、就職してしっかり稼ぎたいと話すことが多い。だからと言っても、子供を生みたくないということではなく、ある程度キャリアを積んだら、家庭を持ちつつ働きたいと思っている人が多いと感じる。そういったときに、桐生で産みたいと思ったときに、産みやすい環境があるのか、産んだあと働くときに時短勤務等、融通はきくのか。また、キノピーランドのような施設が多くあれば、桐生でもっと産みたいと思うかもしれない。</p> <p>また、進学を考えたときに、群馬大学の理工学部が桐生にあることは大きいと思うので、大学生になるまで桐生にいるというビジョンを持たせるような政策ができるといいのかなと思う。</p>	<p>【子育て相談課】 桐生市保健福祉会館内に子育て支援センターを設置し、キノピーランド（屋内遊戯場）を運営するとともに、親子が遊びながら交流でき、情報交換・悩み相談等の場として保育士が常駐するサロン室を開放しています。また、市内民間保育所等 10 施設において、子育て親子の交流の場の提供等を行う地域子育て支援拠点事業を実施し、地域子育て相談機関として妊娠期・子育て期の身近な相談を受け付けています。</p> <p>【商工振興課】 令和7年度におきましては、上述のとおり、内閣府が進める「若者・女性にも選ばれる地方に向け、地域の働き方、職場改革等に取り組む自治体」に参画し、官民一体となって、職場の現状や課題の把握や職場環境の改善等を進めていくことで、「職場」の魅力を高め、多様な働き方の醸成につながる取り組みを進めてまいります。</p> <p>また、企業における子育てサポートや女性活躍を支援していくため、国や県と連携しながら「くるみん」「えるぼし」「群馬県いきいき G カンパニー」に加え、昨年度末に新しく創設した「桐生市 SDGs パートナー登録制度」をはじめとする取組について周知啓発を図り企業の参画を促すとともに、これら活動を通じて、社会全体の理解醸成につなげてまいります。</p> <p>【生涯学習課】 桐生の豊かな自然と優れた文化などを生かした特色ある教育活動を実</p>	子育て相談課 商工振興課 生涯学習課

		<p>施する「桐生を好きな子供を育てる事業」を全庁的に推進することで、子供たちに郷土愛が育まれ、進学などにおいて桐生を離れたとしても、いずれ桐生に戻って活躍してくれる人の土壤づくりに繋がるものと考えております。</p>	
安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる	<p>医療を充実し、安心して子供が産める体制づくりが大事だと思う。</p> <p>また、社会全体として子どもを産んだ女性が気兼ねなく働けるように取り組みにウエイトを置いていくことが必要だと思う。</p>	<p>【地域医療感染症対策室】</p> <p>高度医療を提供する NICU 等を含めた周産期医療の維持継続のため、公立病院の使命である他の不採算部門と併せた桐生厚生総合病院へ負担金の支払いを継続していきます。</p> <p>【商工振興課】</p> <p>女性が働きやすい職場環境の理解醸成につきましては、上述のとおり、取り組みを進めてまいります。</p>	地域医療感染症対策室 商工振興課
安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる	<p>性教育については、学校教育ではできない部分もあるため、学校だけに任せのではなく、将来の結婚や出産に関わる部分のため、市の取組としてイベント等提供してもらえるといいと思う。</p>	<p>【青少年課】</p> <p>性教育と銘打ったイベント等は実施していませんが、将来の結婚や出産にも関わるような青年を対象としたイベントや講座の開催について引き続き検討してまいります。</p> <p>【教育環境課】</p> <p>発達段階や児童生徒の実態に応じた性に関する指導を学校保健計画に位置付け、講演会等を計画的に実施しています。</p>	教育環境課 生涯学習課 青少年課
安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる	<p>少子化対策の一環として「若者のライフデザイン支援」に取り組んではどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐生市では「ミニきりゅう」や「tsukurun 桐生」を通じて、子どもが自分自身の将来ビジョンを描いたり、可能性について気づくきっかけづくりに熱心であり、ライフデザイン支援に取り組む素地がある。 ・人生のライフコースを考えると、「学ぶ」「働く」ことの 	<p>【企画課】</p> <p>女性・若者から選ばれる桐生市提言書において、「結婚を希望する方が一定割合いるものの、結婚に向けた行動に移す方が少ないことを踏まえ、意識啓発と出会いにつながる交流機会の創出に取り組む必要がある。」と提言され、若い世代のうちから「結婚」「家庭をもつ」といったライフデザインを学び、意識や行動の変容を促す機会は重要なことだと考えています。今後、市としてどのような支援が効果的か先進自治体等を研究してま</p>	企画課 学校教育課

	<p>先には「結婚」「子どもを持つ」ことがあるので、結婚・妊娠・出産についても考える機会を作ることは有効ではないか。</p>	<p>いります。</p> <p>【学校教育課】</p> <p>小・中・義務教育学校においては、自身の生き方や職業観を育むキャリア教育及び家庭科における「私たちの成長と家族・地域」などを通じて、将来について、主体的に考え、学ぶ機会がありますので、今後は、若い世代が安心して結婚・子育てができるよう、自分の将来像を主体的に考える力を育てるために、「ライフデザイン」の考え方を含め発達段階に応じた指導の在り方を研究してまいりたいと考えております。</p>	
第3子以降保育料無料化・副食費免除事業	<p>対象範囲の見直し。(第3子以降→第2子以降など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを1人産むことにさえ大変な思いをしている人もいる。 ・子どもの人数にかかわらず、出産することを応援する取組として検討してはいかがか。 	<p>多額の一般財源が必要となることから令和7年度当初予算へは反映できませんでしたが、国や他市の状況を注視し、また他の事業との効果を比較しながら今後も検討してまいります。</p>	子育て支援課

■基本目標4：将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

○具体的な事業に関する意見

事業名	意見内容	反映状況等	担当課・室
認知症総合支援事業	認知症総合支援事業について、イオン太田のスターバックスでは令和6年度から認知症カフェの取り組みを行っている。桐生市にはオレンジカフェがあるが、日常的に使うようなスターバックスのようなカフェにおいても啓発ができるといいと思う。	現在、本市には、13か所（R6.12月現在）のオレンジカフェ（認知症カフェ）が登録されており、認知症地域支援推進員との連携も実施しております。 民間事業者のとの関わりについては、相手先もあることですので、今後の研究課題とさせていただきます。	健康長寿課
コンパクトシティ計画推進事業（0予算）	コンパクトシティ計画について、人口が10万人をきり市民は不安があるので、人口が減少してもこういうまちになるといったことを市民に示す必要があると思う。2019年3月に策定した5年後版を作成し市民に周知していただけるといい。 コンパクトシティ計画が50年、100年の計画であると思うが、変えていくべき部分もあると思う。人口が減っても、市民が安心して住める姿をコンパクトシティでやっていただければと思う。	持続可能な都市の形成を目的として、2019年3月に策定した桐生市コンパクトシティ計画（立地適正化計画）については、新たに防災指針を計画に加える必要が生じたことから、立地適正化計画改定事業として令和7年度当初予算に計上しております。この改定の中で、現状の課題を整理のうえ、市民が安心して住み続けられるまちづくりの方針を示してまいります。	都市計画課
健康で文化的な生活環境づくり	高齢者や子どもがちょっと集まれるような広場があるといい。また、まちなかの空き店舗があると思うので、そのようなところを活用して、高齢者が集まれるような場所があるといいと思う。	【公園緑地課】 都市公園として、総合公園・特殊公園・近隣公園・街区公園等81か所あり、その他の公園的要素を有する施設として59か所あります。これらを有効に利活用していただくためにも、市民の相互交流をより一層促進する場となるよう、ボランティア等の協力を得ながら市民に愛される公園づくりや老朽化した公園施設の整備・改修を進めて行きたいと考えます。 【商工振興課】 空き店舗に関わるご意見につきまして、市では空き店舗等を活用した新店舗開設を支援しており、高齢者もご利用しやすいカフェや飲食店も増え	公園緑地課 商工振興課 健康長寿課

	<p>ております。ご意見も踏まえ、開業希望者に市民のニーズとしてお伝えするなどし、引き続き、まちなかが活性化するような魅力ある店舗の開設に向け、努力してまいります。</p> <p>【健康長寿課】</p> <p>現在、高齢者の集まれる場所といたしますと、長寿センター等のほか、社会福祉協議会が行っている「サロン」活動があります。また、老人クラブ活動などもその一環です。今後とも、地域包括支援センターや、社会福祉協議会へ委託している「重層的支援体制整備事業」などからもこのような活動を支援して参ります。</p> <p>委員ご指摘の、まちなかの空き店舗の活用につきましては、費用や実施主体など、今後の研究課題にさせていただければと考えます。</p>	
--	--	--